
涙想

綉芭葵

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

涙想

【Nコード】

N0340P

【作者名】

綉芭葵

【あらすじ】

振られた僕の想いと幻想。

あんなに好きだと言ってくれたのに
夢は醒めて。

あんなに抱きしめてくれたのに、
夢は幻。

うれしくて、悲しくて、幸せで、
それは僕が望んだ幻想。

現実はずらくて、苦しい。

涙が出るような、寂しさの繰り返し。

誰か僕を、呼んでくれないか。

誰か僕をこの闇から連れ出してくれないか。

誰か僕を求めてくれないか。

深く深く深く引き寄せて。

ひどくひどくひどく抱きしめて。

強く強く強く離さないで。

嫌だというぐらい 愛してよ。

どんなにがんばっても逃げられないくらい、繋ぎとめておいて。

心を縛って、寂しさや悲しみや憎しみを感じさせないようにして。

昔誰かが言った。

「人は心があるから、その涙は意味があり、美しいのだと。」

なら僕の涙も、価値があるのだろうか。

どこまでも貪欲で、憎しみ続ける僕も、

いつか幸せになれるのだろうか。

もう眠くなってきた。

おきた時には幸せで、夢のような幻覚を祈って。

今までのことは思い出にしよう。

溢れるほどの思いを胸に。

・・・さようなら。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0340p/>

涙想

2010年12月10日22時37分発行